

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|---------------|
| ○事業所名 | ハッピーテラス東浦和教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年11月14日 | | ～ 2025年12月28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 44 | (回答者数) 39 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年12月8日 | | ～ 2025年12月28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年2月4日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 集団の中で社会性を育てる療育 | トレーニングでは毎週テーマを設定し、1年を通して自立に向けて必要な力を身につけられるようプログラムを構成しています。集団活動の中で、お友だちとの関わり方やルール理解、順番を待つことなどを経験できるよう活動内容や関わり方を工夫しています。 | 活動後には職員間で振り返りを行い、お子さまの様子や成長に合わせて活動内容や支援方法を見直ししながら、より効果的な集団療育につながるよう取り組んでいます。 |
| 2 | ボードゲームを活用した療育の充実 | ボードゲームなどの活動を取り入れ、楽しみながらお友だちとの関わり方やルールを守ること、順番を待つことなどを経験できるよう工夫しています。また、お子さまの年齢や特性に合わせてゲームの種類を選び、安心して参加できるよう支援しています。 | ボードゲームの種類や活動内容を工夫しながら、友だちと楽しみながら過ごす経験を増やし、余暇の過ごし方の幅が広がるよう取り組んでいます。 |
| 3 | 個別配慮 | 集団活動の中でも、お子さま一人ひとりの特性や得意なこと、苦手なことに配慮しながら関わり方や声かけを工夫しています。また、安心して活動に参加できるよう、活動内容や役割の持ち方などを調整しながら支援を行っています。 | 日々の様子を職員間で共有し、お子さまの成長や課題に合わせて関わり方や支援方法を見直ししながら、より一人ひとりに合った支援の充実を図っています。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 職員体制に関する課題 | 利用人数や活動内容によっては、より丁寧な支援を行うために職員体制の充実が必要であることが課題となっています。 | 職員間で役割分担や情報共有を行いながら、より安全で丁寧な支援が行えるよう体制づくりに努めています。また、今後も職員体制の充実を検討しながら支援の質の向上を図っていきます。 |
| 2 | 活動スペースや環境面 | 活動スペースに限りがあるため、活動内容によっては十分なスペースを確保することが難しい場合がある。また、利用児の特性や活動内容に応じて、環境調整が必要となる場面もある。 | 活動内容に応じて机や備品の配置を工夫し、限られたスペースでも安全かつ活動しやすい環境づくりを行っている。また、落ち着いて過ごせるスペースを確保するなど、子ども一人ひとりの特性に配慮した環境調整を行いながら、より過ごしやすい環境づくりに努めていく。 |
| 3 | 利用児の年齢が上がるにつれ、一人で通所するケースも増えており、保護者への対面でのフィードバックの機会が少なくなっている。 | 利用児の年齢が上がるにつれ、一人で通所するケースが増えており、保護者と直接お会いする機会が減少している。そのため、療育の様子や成長の変化について、対面で丁寧にフィードバックを行う機会が少なくなっている。 | 対面でのフィードバックが難しい場合でも、サービス提供記録等を活用して療育の様子を丁寧に共有する。また、定期的な面談や電話連絡等を通して、保護者との情報共有や相談しやすい関係づくりを継続していく。 |